

第47回 千葉県アンサンブルコンテスト

第45回 全日本アンサンブルコンテスト 予選

第27回 東関東アンサンブルコンテスト 予選

参加要項

大会の実施にあたっては新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるため、原則として無観客とします。
なお、実施方法を変更する場合は、改めて周知いたします。

1 期日・会場

大学、職場・一般 令和3年12月19日（日）
〈会場〉千葉県教育会館大ホール
千葉市中央区中央4-13-10 TEL 043 (227) 6141

小学生、高等学校、中学校（打楽器） 令和3年12月25日（土）
中学校（管楽器） 令和3年12月26日（日）
〈会場〉君津市民文化ホール
君津市三直622 TEL 0439 (55) 3300

2 主 催 千葉県吹奏楽連盟・朝日新聞社・千葉県吹奏楽連盟賛助会

3 後 援 千葉県教育委員会・千葉市教育委員会・千葉県音楽振興協議会
千葉県教育研究会音楽教育部会・千葉県高等学校教育研究会音楽部会
一般社団法人 日本管打・吹奏楽学会・公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会千葉県部会

4 参加規定

- (1) 参加資格 連盟の加盟団体に所属している児童・生徒・団員とする（加盟手続きは4月22日（木）までに行わなければならない）。参加グループは所属する部門に参加する事。ただし、職業演奏家の参加は認めない。同一人が二つ以上のグループに重複して出場する事は認めない。なお、年齢については問わない。
- (2) 参加部門 小学生、中学校、高等学校、大学、職場・一般の5部門
- (3) 人員・編成 人員は3名～8名までとし、同一パートを2名以上で演奏することは認めない。編成は、木管・金管・打楽器・コントラバスによるものとする。独立した指揮者はおかない。
※コントラバスのみの編成およびリコーダーの使用は認めない。
※ピアノ・チェレスタ・チェンバロ・オルガン等の鍵盤楽器およびハーブの使用は認めない。
- (4) 小学生、中学校、高等学校部門は地区予選に出場し、代表として推薦されたチームで予選時と同一曲目、同一メンバーであること。大学部門は加盟1団体につき4チーム以内とする。職場・一般部門は加盟1団体につき5チーム以内とし、申込み先着50チームまでとする。
- (5) 演奏時間は〈5分〉以内で、時間超過は失格。
- (6) 演奏は原則としてステージ上で行う。ただし、オフステージ（舞台裏等）での演奏を希望する団体は、申込時にその旨を千葉県吹奏楽連盟に申請し、許可を受けることとする。また、演奏者が何らかの理由により移動しなければならない場合は、ステージ上を移動することとし、演奏中舞台裏を上手から下手または下手から上手に移動することはできない。
- (7) ステージへ共鳴箱・反響板を持ちこむことはできない（上位大会も同様）。
- (8) 著作権の存在する楽曲を編曲する場合や、出版されている編成と異なる編成で演奏をする場合、楽譜と異なる楽器を使用する場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けなければならない。これらの許諾を受けずに本大会に出場することは認めない。出版社より送付された許諾書のコピーを参加申込書に添付する。レンタル譜を利用する場合も、演奏許諾書または合意書のコピーを参加申込書に添付する。
また、楽譜を無断でコピーして演奏することはできない。
※作曲者の死後（没後）およそ70年を経っていない大半の作品には著作権が存在する。
※編曲の管理はJASRAC（日本音楽著作権協会）ではなく、著作権者（作曲者またはその楽譜の出版社）が行っている。
※出版楽譜においても日本国内での演奏許諾がないものがある。
- (9) 演奏開始時刻に間に合わなかった団体は、原則として失格とし、審査の対象としない。

5 参加申し込み

- (1) 手続き P.62の参加申込書に必要事項を記入の上、申込書(原本)とスコア表紙(曲名、作・編曲者名が分かるもの)A4サイズコピー、著作権の存在する楽曲やレンタル譜の場合は許諾書コピーを郵送すること。
※小学生、中学校、高等学校部門の出場順はそれぞれの部門で申込み郵便到着逆順とする。大学、職場・一般部門の出場順は、進行の都合により主催者が決定する。
出場団体の都合による出場順の要望・変更は審査・運営の妨げとなるので、認めない。
- (2) 申し込み先 〒260-0028 千葉市中央区新町1000番地 センシティタワー12階
千葉県吹奏楽連盟 理事長 相川 隆司
- (3) 申込み締切 大学、職場・一般 10月1日(金)~10月26日(火) 必着厳守
小学生、中学校、高等学校
西部(船橋)地区 11月10日(水) 必着厳守
千葉市・西部(市川)・東葛飾・東部・山長夷 11月19日(金) 必着厳守
印旛・安房上総 11月25日(木) 必着厳守
上記、指定された期日の17:00までとする。
- (4) 審査料 1チーム 7,000円 (賞状等 送料を含む)
- (5) 参加料 演奏者1人につき1,000円
- (6) 部員入場券 原則として無観客で開催するため、販売しない。
- (7) 参加諸費納入について

審査料・参加料を下記口座に振り込むこと。

締切: 大学、職場・一般……11月12日(金)まで

小学生、中学校、高等学校…11月29日(月)まで

振込先: 郵便振替 口座番号 00170-8-104707 加入者名 千葉県吹奏楽連盟事務局 (振込料は振り込み者負担)

※小学生、中学校、高等学校の出場者は地区大会の際配布される振込用紙を使用し、大学、職場・一般の出場者は郵便局備え付けの用紙を使用して振り込むこと。

※通信欄に内訳、団体名・編成を必ず記入すること。

※いったん納入された諸経費は返金しない。

<自然災害等による事件事故発生で大会中止となった場合の参加諸費について>
危機管理運営マニュアルに基づいて対応する。

(8) DVD提出について

新型コロナウイルス感染状況により、会場での演奏・審査が不可と判断した場合はDVD審査に変更する。演奏を録画したDVDを12月8日(水)(必着厳守)までに千葉県吹奏楽連盟事務局へ送付すること。期日までに提出されなかった場合は、DVD審査を棄権とみなす。1団体が複数チーム出場する場合は、チーム毎にDVDを用意すること。

- ・動画撮影は、一台のビデオカメラで常にメンバー全員が映るよう位置と角度を固定して撮影を行うこと(ズーム等も行わない)。
- ・編集は一切認めない。曲の始まりから終わりまでの通し演奏を動画撮影することとし、編集が発覚した場合は審査の対象外とする。
- ・演奏の開始前と終了後にビデオカメラに向かってメンバー全員で一礼を行い、演奏の開始と終了がわかるようにすること。
- ・市販の一般的DVDプレーヤー(再生機)で再生できるよう、必ずファイナライズし確認の上、提出すること(パソコン・ゲーム機等で再生できても、市販の一般的DVDプレーヤーで再生できない場合があるため十分注意すること)。

6 表彰

金・銀・銅で表彰する。表彰式を行わず結果はホームページにて発表し、賞状等は、後日宅急便にて送付する。

金賞の中から小学生部門は6チーム、中学校・高等学校部門は各8チーム、大学部門は2チーム、職場・一般部門は7チームを県代表として推薦する。東関東出場順は、千葉県吹奏楽連盟が代理抽選を行う。

・第27回東関東アンサンブルコンテスト

令和4年1月22日(土)23日(日)

千葉・君津市民文化ホール

・第45回全日本アンサンブルコンテスト

令和4年3月19日(土)

山形・やまぎん県民ホール

7 その他

原則として無観客で開催するため、客席は使用禁止とする。

※この参加要項は、各地区大会において、県大会出場を認められた団体の使用するものである。

- ① 小学生、中学校、高等学校の地区大会の申し込みは、各地区吹奏楽連盟から送られる参加要項に従って行うこと。地区大会の問い合わせは各地区連盟事務局へ連絡すること。
- ② 大学、職場・一般部門の地区大会は行わない。参加希望団体は、この参加要項に従って、受付期間内に千葉県吹奏楽連盟事務局へ直接申し込みをすること。

全日本アンサンブルコンテスト千葉県大会実施規程 (平成 24 年 1 月 8 日改訂)
(平成 25 年 1 月 13 日改訂)
(平成 28 年 1 月 11 日改訂)
(平成 31 年 1 月 14 日改訂)

1. 東関東支部アンサンブルコンテストへの千葉県代表数 (平成 21 年度より)

〔県代表数〕	小学生 5	中学校 7	高等学校 7	大学 2	職場・一般 6
(千葉県主管年)	小学生 6	中学校 8	高等学校 8	大学 2	職場・一般 7

2. 全日本アンサンブルコンテスト千葉県大会・県代表推薦内規

1) 県代表チーム数は、各部門において同一校、または同一団体から下記の () のチーム数を超えないものとする。

小学生 (2) 中学校 (2) 高等学校 (2) 大学 (1) 職場・一般 (2)

2) 中学校部門と高等学校部門において、打楽器のみの編成チーム数が各部門の県代表数の半数を超えた場合、打楽器のみの編成については、審査基準を別に定める。

3. 地区代表数 (小学生、中学校、高等学校部門) について

各地区大会より県大会への代表数は、前年度の地区大会に参加した各学校の〔基数〕を合計した数に、当該年度の係数を乗じた数値の四捨五入した数を、その地区の代表数とする。

〔基数〕とは、同一校で地区大会に参加出来るチーム数が最小である地区の数を〔上限基数〕とし、各地区大会に同一校からの出場数がそれと同じ、又はそれ以下の場合はその出場数をその学校の〔基数〕とする。同一校からの出場数が上限基数を超える場合は、該当校の出場数を上限基数に置き換えた数をその学校の〔基数〕とする。

〔係数〕とは県大会開催に望ましい〔総出場チーム数〕を、前年度の全地区の〔基数〕の総合計で割った数値とする。

(付記 1) アンサンブルコンテストの〔上限基数〕を 3 とする。

(付記 2) 各地区大会から県大会に同一校から推薦出来る数は、アンサンブルコンテストでは **3 チーム** を超えないものとする。なお、**地区代表の打楽器アンサンブルは各部門 1 チームを超える事は出来ない (シードを除く)**。

(付記 3) 〔係数〕、〔上限基数〕、県大会〔総出場チーム数〕はその年ごとに第二演奏事業部が定め、各地区大会から県大会に推薦出来る数を、地区大会開催前に地区連盟理事長に報告をする。

(付記 4) アンサンブルコンテスト県大会への推薦出場

前年度の県大会、小学生、中学校、高等学校部門において県代表となった学校は、そのチーム数、同コンテスト地区大会においてシード演奏を行い、当該地区理事長の推薦により県大会にシード出場することが出来る。但し同一校から県大会に出場出来るチーム数は、シードチームを含め **3 チーム** を超えることは出来ない。

(付記 5) 各地区理事長、又は地区事務局長は、地区大会終了後すみやかに地区大会への学校別参加数、基数、地区代表一覧表、地区大会プログラムを千葉県吹奏楽連盟理事長に提出し報告しなければならない。

(付記 6) 地区大会への出場、他地区への出場について

地区大会への参加は団体が所属する地区連盟が主催する地区大会とする。但し、下記の特例、及び大学、職場・一般部門は除く。

〔特例〕学校行事等の事情で当該地区の大会に出場出来ない場合、次の手続きを経て他地区の大会に出場する事が出来る。出場希望者が所属する地区理事長に申し入れ、地区理事長が他地区の理事長に依頼し承認を得て出場することが出来る。

但し、出場した他地区の大会で審査、表彰を受けることは出来るが、地区代表に含めることは出来ない。

県大会出場団体用

大学、職場・一般
小学生、中学校、高等学校
西部（船橋）地区
千葉市・西部（市川）・東葛飾・東部・山長夷
印旛・安房上総

10月1日（金）～10月26日（火）必着厳守

11月10日（水）必着厳守

11月19日（金）必着厳守

11月25日（木）必着厳守

上記、指定された期日の17：00までとする。

（第45回全日本・第27回東関東アンサンブルコンテスト予選）

第47回 千葉県アンサンブルコンテスト 参加申込書

（1チームにつき1枚）

令和3年 月 日

部門（○印）	小学生 中学校 高等学校 大学 職場・一般	地区代表				
ふりがな						
団体名	編成					
団体所在地	〒 _____ TEL : _____ FAX : _____					
ふりがな	自宅住所 〒 _____ ※必ず連絡の取れるところを記入					
連絡責任者氏名	TEL（自宅・携帯）： _____					
曲名 <small>（抜粋の場合は、楽章等も記入の事）</small>	Spelling					
作曲者名	Spelling <small>（略さずフルネームで）</small>					
編曲者名	Spelling <small>（略さずフルネームで）</small>					
楽譜出版社				演奏時間	約 分 秒	
演奏者	パート <small>（例：Cl.1）</small>	氏名	プログラム氏名掲載 <small>（○印）</small>	パート <small>（例：Cl.1）</small>	氏名	プログラム氏名掲載 <small>（○印）</small>
			可・否			可・否
			可・否			可・否
			可・否			可・否
使用する打楽器 <small>（名称・台数）</small>	※打楽器を使用する場合記入					

※参加申込書に記載された内容は、大会運営、プログラム、DVD、CDのタイトル以外での目的では使用いたしません。

※プログラムへの氏名掲載の可否については、当該欄に○を記入してください。未記入の場合は可として掲載します。

※申込書とともに、スコア表紙A4コピー、演奏許諾書コピーを同封してください。

上位大会に推薦された場合（○印） 1. 参加します 2. 参加しません 3. その他（ ）

千葉県吹奏楽連盟 理事長 相川 隆司 様

学校長（団体責任者）氏名 _____（職）印

第 47 回 千葉県アンサンブルコンテスト

ステージ配置図

♪必要事項を記入の上、コピーをして3部 当日受付に提出して下さい♪

1 2 月	日	部 門	演 奏 順	
ふりがな				
団 体 名				
演奏形態	重奏			
外国人はカタカナで、邦人はふりがなを（会場放送のため）				
ふりがな			ふりがな	
作曲者名			編曲者名	
演奏曲名				
<p>☆打楽器は、図入りでおおよその位置を指示してください</p> <p>※椅子・譜面台の配置は、密にならないよう間隔を広く開けてセッティングいたします。</p>				
<hr style="width: 50%; margin: 20px auto;"/> <p>（ 客 席 ）</p>				
[座奏 ・ 立奏]			椅子……○印（ ）脚	
			譜面台……×印（ ）本	

※使用楽器については出場団体で用意すること。